

平成 28 年度第 4 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 28 年 7 月 27 日（水） 18：30 ～ 20：00

【場 所】 保健センター

【出席者】 9 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生		委員	前 田 和 也	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴 田 志寿子		委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ～ 松田企画経済部渉外調整担当部長

支 所 ～ 西田支所長・田村市民福祉課長・厚田生涯学習課長

事務局 ～ 高田地域振興課長・相原主幹・中村主任

(地域振興課)

【傍聴者】 1 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

（1）浜益厚田間乗合自動車運行状況について

5. 協議事項

（1）（仮称）厚田小中学校設立準備委員会の委員推薦について

6. その他

（1）「道の駅」に関する動向について

（2）石狩市の教育講演会について

（3）厚田区内の夏のイベント

7. 次回の日程について

8. 閉会

1. 開会

【(厚) 地域振興課 高田課長】

それでは、皆さんお晩でございます。開会前に所用により今委員、坂本委員、前田委員、中井委員、柴田志寿子委員、吉田委員の6名から欠席の連絡を受けておりますので、報告させていただきます。

では、第4回厚田区地域協議会を開催いたします。佐藤会長、ご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。

今年の夏はちょっと暑い夏と期待していたのですが、過ごしやすいですが、農家の方にはちょっとどうでしょうか、このお天気は。恵みの雨はこの何日か続きそうです。

昨日ですね、石狩市の5ヵ年総合計画の会議がありまして、今までは5ヵ年計画策定に向けた議論でしたが、これからは実行するための施策を議論して、どうやってそれを具体的にしていくか、そしてそれを今度は評価しないといけないわけですね。そういう作業をしまして、2つの点において厚田、浜益に対して石狩市全体が目を向けていただいている。なぜかという、10月2日に委員と石狩市民も含めて40名くらいでバスで厚田・浜益の現地視察の計画が立っています。

すなわち街づくりの一つのモデルが厚田・浜益という形になっており、その現地視察をしたいということです。それともう一つですが、厚田・浜益にちょっと関係する点でございますが、漁業者、それから農業者、それから農協に勤めている若い人たち、未婚の人たちの出会いのチャンスが無いということで、数年前から婚活をしています、うまい具合に成立しないのが悩みだということを言っていました。それをどうできるかという点ですが、厚田は年中イベントをしまして、わざわざテレビでやっているような1箇所に集めてイベントしてカップルを作るような形は都会ではまだしも田舎では馴染まないのではないかと。例えば厚田でやっているイベントに若い人たちを迎えてやってみようか。例えば昨年実施した「俺たちの2015」というお祭りをやりましたね。そういうイベントの中に出会いのチャンスを見出した方が、より現実的ではないかという話で、これもまたそういうイベントずっと通してやっているのが厚田・浜益ですね。色んな街づくり、あるいは地域づくりにおいて一つのモデル地域として皆さんの目が厚田・浜益に向けられている感じを受けました。

これはですね、合併してから10年、今年で11年目になりますが、そういう厚田・浜益の皆さんが地域のために汗を流して色んな組織や団体で活動をしているというのが、徐々に外に見えていっているような時期になっているのかなと、心強く思いました。そういう報告をしながら、実はこの地域協議会でまだまだ皆さんで心の中で暖めているアイデアを出して頂きながら、新しい街づくりや地域づくりのために、皆さんのアイデアを是非率直なところで出していただいて、それが実現するかどうかは5年後10年後になるかもしれませんが、そういう努力を地道に行かなければならないと思います。

アクアレーンもすばらしい作品がだんだん集まってきている、と大黒委員からの報告がありました。そういう風に関わること、やはり地域の力は続けていくことだと思いますので、いろいろなことをまた皆さんのお力を借りながら、議論をしていきたい。出来れば北海道の街づくりや地域づくりのモデルに厚田や浜益がなればいいなと思っています。

ちょっと大きな話になってしまいましたが、私の話はこれぐらいにしてリラックスタイムに移りたいと思います。

3. 情報交流 (リラックス タイム)

4. 報告事項

【佐藤会長】

それでは、報告事項に移りたいと思います。

浜益厚田間乗合自動車運行状況について相原主幹からお願いします。

(1) 浜益厚田間乗合自動車運行状況について

【(厚) 地域振興課 相原主幹】

皆さんお晩でございます。前回の地域協議会で委員からご質問のありました、浜益厚田間の乗合自動車の運行状況について、今日は資料を基にご説明させていただきます。お手元の資料に浜益厚田間乗合自動車利用状況というのが配られていると思いますがございますでしょうか。この表はデマンドバスが始まった4月1日から7月15日の利用状況をまとめたものでございます。各月の利用状況はご覧の通りですが、この乗合自動車を始める際に年間の利用者数の見込みを立ててまして、これは実際に浜益札幌間のバスを利用している方や、診

療所に自家用車でいらっしゃる方などの聞き取りの状況を勘案して、年間およそ3,000人という計画を立てたそうです。この4ヶ月を見ますと784名ということで凡そ800名。これを4ヶ月間なので3倍しますと年間2,400人ということで3,000人の見込みに対して、目標達成は厳しそうな状況になっています。それでは何が見込みとずれているのかということですが、まずは下の表の目的地別利用人数を見て頂きたいのですが、浜益から厚田支所、結局札幌へのバスの接続の部分は概ね見込みどおりの利用を頂いています。一方で、浜益区内を見ると全体の1.0%で8件しかない状況で、ここが非常に目標に対して大きく下回っている状況で、この区内のところの掘り起こしを何とかやって行きたいと聞いています。

中身をいろいろ聞きますと、この利用に際して便利になる電話の登録という説明が以前あったと思います。147名が登録済みで世帯数でいうと99世帯になり、概ね見込み通りとなっています。区内の移動については、区内をタクシーのように使えるという感覚がまだ浸透しきっていない、と考えていまして、その辺をPRに努めて行きたいと聞いています。

その中で、浜益から厚田へのバスの接続に対して利用できるということは、反対に厚田支所から浜益への移動に利用できるということです。是非委員の方には体験も兼ねてご利用して頂きたいと、申し付かっていますので宜しくお願いします。

【佐藤会長】

ありがとうございます。

今の乗合自動車の利用状況を説明いただきましたが、何か質問ありますでしょうか。

また新しいデータが出たら、皆さんにご説明できると思いますので、よろしいでしょうか。

将来中央バスが無くなれば厚田も同様な仕組みを取り入れることも検討しなければならないので、対岸の火事ではありませんので、ご注目いただければと思います。

それでは協議事項に入ります。

5. 協議事項

【佐藤会長】

厚田小中学校設立準備委員会の委員推薦について、相原主幹から説明いただきたいと思います。

（１）厚田小中学校設立準備委員会の委員推薦について

【(厚) 地域振興課 相原主幹】

石狩市の教育委員会のほうから、表題にあります厚田小中学校設立準備委員会の委員会を開くにあたり、当地域協議会に対して委員の推薦を1名依頼されていますので、よろしくお願いします。

教育委員会のほうからは、区内の各学校からメンバーとしてPTAから1名、それから校長教頭など1名、学校支援推進員から1名、そして保育園父母の会から1名、学識経験者から1名、といったメンバーを想定していると聞いています。

第1回目は8月26日金曜日に6時30分に厚田保健センターで委員会を予定しており、それにあたり委員の推薦を1名お願いしたいと依頼されていますので、お願いします。

【佐藤会長】

はい。この準備室も教育委員会のメンバーも今説明あったように、現在の厚田区内の小中学校の各PTAの代表の方が1名、それから各学校の校長教頭、それから各学校に学校推進委員がいますのでそこから1名、それから保育園の父母会から1名、それから学校統合に係った学識経験者から1名で考えているようです。

それでは、この地域協議会からの推薦に対して、皆様からのご意見がありましたらお伺いします。

【柴田肇委員】

これは何回か地域協議会でお話があったように、道の駅の駐車場と結構リンクする部分がありまして、地域協議会の検討内容や駐車場の問題なども含めて、経過を良く分かっている方が、その中で意見交換などがあったときに、こちらの地域協議会の考え方を代弁して頂くこととか、あるいは教育行政なども詳しく、長く経験のあることとか、さらにまた、これまでの地域協議会を代表して意見を具申頂ける立場ということですから、大変に沢山の公職をお願いしていて、心苦しいですが、佐藤会長が代表して出ただけだったら意思の疎通がスムーズかなと感じていますので、ご検討いただけたらと思います。

【佐藤会長】

私の名前が出ましたので、私が進行するのはなんかおかしい気もしますが、3~4年前に地域教育分科会をこの地域協議会の中から立ち上げました。そこでコミュニティースクール学校運営協議会の検討を2年間続けてきましたが、学校統合問題が出まして、この会が統合に向けての圧力団体みたいになってしまったら良くないということで、ちょっとやめていました。今回学校統合がほぼ決まりまして、このように準備室が出来るとい運びになりましたので、この学校運営協議会を勉強して、コミュニティースクールを勉強していた地域教

育分科会を再開したいと思っていました。

そういう経緯もありまして、どうでしょう、委員の皆さんが他の違ったご意見、ご推薦がありましたら伺いたいと思います。

【 築田委員 】

柴田委員が話したとおり、佐藤会長にやっていただくのがベストだと思います。

【 佐藤会長 】

よろしいでしょうか。

【(厚) 地域振興課 相原主幹 】

それでは、当地域協議会の会長でもあり、地域教育分科会の座長でもある佐藤会長を推薦したいと思います。

6. その他

(1) 道の駅に関する動向について

【 佐藤会長 】

それでは、その他の部分ですが、道の駅に関する動向について、松田部長のほうから宜しく願いいたします。

【 渉外調整担当 松田部長 】

資料とし、外観のデザインと、裏が室内のイメージと配置をお渡ししました。

基本設計は大体どういう役割を持たせてやっていくかというのはほぼ固まりました。今、実設計の部分でこういうデザインをどうするか、内装も含めて、まだ決まったわけではないですが、何回かご覧頂いているように、建物立体の形としてはほぼこの形で行くことは決まっているので、この枠の中でどのデザインがいいかという部分でございます。

この辺も10月頃までには確定させて、いよいよ造成工事をやっていますが、年明けに建築工事に入っていく形になりますので、いろいろなものが重なって動いているところでございますので、また地域協議会の中でも随時ご報告させていただきます。

ソフト関係では、7月14日に着地型観光協議会を立ち上げて、厚田・浜益の地域の皆さんや農業者・漁業者や事業をやっている方など、設立段階では40名程度集まって会合を行いました。今までもいろいろと地域の資源の発掘や磨き上げをいろいろやってきたわけですが、結果のイメージをしっかりとそこに繋げて行くという部分では、今までとは違ったスタンスでやっているところです。会費も100円ですが払って頂いて意識のある方に集まって頂いてスタートの立ち上げをやりました。8月4日に2回目を実施する予定で、旅行会社の方にも入って頂いて、外から見て本当に商品となるものは何か。私たちが意識していないものに、じつは価値があるかもしれないし、逆にすごいと思っているものが外から見るとそうではない場合もありますし、客観的な観点からも検討を加えて、道の駅の運営において、一つの集客の手段として商品を作っていく事を目指しています。

道の駅が出来れば終わりではないので、道の駅に来て頂いた人に厚田・浜益に周遊してもらおうかという部分についてハードとは別の次元で取組んでいます。庁内の部分で行けばスポーツ・文化・自然などあると思いますが、周遊促進会議という名称で、今ある既存の資源で再精査や新たなモデルコースの設定について、関わっている団体として厚田・浜益地域を初めとして、花川の方にも声をかけて、道の駅をきっかけにこういう形のものを取組んでいくために会合を予定しています。

来年の予算が、10月頃から決まっていきます。お金が無くても出来ることもあります。やはり予算を確保していかないと2年後のオープンですから、マップなどを作るのにもお金がかかりますので、10月くらいまでにある程度どのようなことが必要なのかまとめていく予定です。

運営会社について、規模やスタッフの人数などを検討してまして、一番困っているのが人の確保です。社員に出来る人はある程度のノウハウを持っている人を探す予定ですが、売り子さんやパートさんの部分で道の駅の運営だけに関しても10名前後は必要でして、そんなに確保できるのか心配しています。ちょっと工夫しないと確保できないかもしれないと、この辺を検討してまして、地域の方にもアドバイスをもらいながら、やって行きたいと思っています。

【 佐藤会長 】

ありがとうございました。

お手元に外観のイメージ、そして裏側には内部のイメージが乗っています。
この外観のA案とB案はきまったのですか？

【松田渉外調整担当部長】

建物の黒を基調にしているのは、材質や維持管理などを考慮しています。この赤は輪島塗のイメージで、黒のみだとくすんでしまうので、アクセントカラーとして赤を入れています。

大体このようなイメージで固まりそうなのですが、窓の切り方も検討途中で、眺望を一番重要にしたいので、隠してしまうのは良くないので、このような部分も含めて検討中です。

【柴田肇委員】

道の駅の名称はいつごろ決まる予定ですか。

【松田渉外調整担当部長】

公募する予定はなく、こちらの方で決める予定です。最終的に利用方法に関して市民参加手続きを採りますので、このときに名称を含めて意見を聞く形になります。

【佐藤会長】

他はよろしいでしょうか。

建物は形になってきていますが、ソフトの部分が中々大変ですね。具体的なことをどんどん詰めていけば、私たちが出した意見を具体的に進めていくことは大変なお仕事だと思います。道の駅の準備室の松田部長を始め、ご足労かけています。本当にありがとうございます。それだけの苦労は建物が出来上がってしまえば、分からなくなりますよね。せめてこの地域協議会の委員の皆さんたちにはその苦労の一部でもご理解いただければと思います。

それでは石狩市の教育講演会、8月2日にありますので、この説明を田村課長よりお願いします。

(2) 石狩市の教育講演会について

【(厚) 田村市民福祉課 田村課長】

私の方から石狩市教育講演会についてご説明させていただきます。

8月2日火曜日18時からりんくろで行われます。講師は北海道大学の出口先生です。内容はコミュニティースクールの内容と取り組みということで、厚田小中学校の設立に関してコミュニティースクールを考えていることもありまして、この機会に地域協議会の委員の方に聞いて頂きたいなと思ひまして、PRさせていただきます。

資料にありますが7月20日が締切りとなっていますが、定員に空きがありますので、ご都合付く方がいればぜひ出席いただきたいと思います。

【佐藤会長】

ご出席できる方はぜひお願いします。

それではもう1点、厚田区内の夏のイベントに関して、高田課長より説明をお願いします。

(3) 厚田区内の夏のイベントについて

【(厚) 地域振興課 高田課長】

夏に厚田区内で行われるイベントについて説明させていただきます。

7月30日と31日と8月5日と6日の4日にわたって4つのイベントが開催されます。

一つ目は、7月30日と31日に行われる厚田サンセットフェスティバル、主催は厚田区コミュニティーゆめ倶楽部です。観光案内所の北側スペースを使って開催されます。今年は道の駅を意識して厚田・浜益の農政部会にて道の駅オープンに備えて野菜のテスト販売・出荷をしたらどうか、ということで話が出ていまして、今回のイベントでテスト販売することになっています。

目標は10軒ほどで、既にこだわり隊に出荷している方もいますが、出来ればこれまで出荷したことがない方の参加を目指して推進しているところですので、皆さんお誘いの上、来場していただければと思います。

二つ目は、“厚”“熱”“集” まれ夏のビアガーデンです。これもゆめ倶楽部主催で例年観光案内所の隣の夕日の丘でやっていましたが、これはニトリの花火大会に合わせて実施していましたが、ニトリ花火大会がまるごとフェスタ会場の方に移動したこともあり、天候のことも考慮して、今年は厚田総合センター駐車場の方に場所を変更しました。お楽しみ抽選会などもありますので、お誘いの上来場していただければと思います。

三つ目ですが、俺たちの2016ですが、去年初めて漁協・農協の青年部が主催となって開催したわけですが、テレビ放映や大漁旗を掲げたこともあり来場者が多く1,000人くらい来しました。今年は2回目ということ

で、いろいろ準備をしており、旬なものがたくさんでできますので、ご来場していただければと思います。

最後になりますが、朝市食堂ですが、8月11日に海鮮塩焼きそばをメニューに臨時営業しますので、よろしくお願い致します。

【佐藤会長】

夏のイベントとして4つ紹介いただきました。是非地域の方に来て頂きたいということですので、よろしくお願い致します。

その他、何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、議題がすべて終わりましたので、終了します。

どうもありがとうございました。

7. 次回会議等の日程について

平成28年8月30日（火） 18:30 ～ みなくる

8. 閉会

平成28年8月30日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦